

### 第3学年 総合的な学習の時間 学習指導案

隈府小学校 教諭 高橋 かおり

1 単元名 隈府のよかところ発見！

#### 2 単元の目標

- 「白龍祭り」や「松風」、「松囃子御能」「竜おどり」についての話を聞くことを通して、地域の歴史と伝統、文化の素晴らしさ、それを守り受け継ぐ人々の思いを知り、持続可能な社会をつくることの必要性について知ることができる。 (知識・理解)
- 菊池市の現状からよさや課題を見出し、菊池市のより良い未来に向かって、自分たちにできることを考えたり、発信したりすることができる。 (思考・判断・表現)
- ゲストティーチャーの話や現地見学で得た情報を生かしながら、自分たちにできることを意欲的に取り組んだり、他にも地域のために貢献している人のことを調べたりすることができる。 (主体的に学習に取り組む態度)

#### 3 単元について

##### (1) 教材観

本単元では、「校区にある有名なヒトやモノ、コト」「菊池一族と隈府の町おこし」「隈府の商店街の人々の願い」「地域のために自分ができること」を教材として取り上げる。

校区で活動をされている菊池白龍会の方や菊池盆踊りの立ち上げに貢献してこられた方、松囃子御能保存会の方を招き、活動に対する思いを聴くことで、自分たちの地域の良さを再発見し、自分も活動に参加してみたいという意欲を育むことが期待できる。

さらに、学習発表会で自分たちが調べたことを地域に発信したり、菊池市のお菓子屋さんのことをリーフレットにまとめたりする活動を通して、人とのつながりの大切さを感じ、相手意識をもちながら伝えようとするコミュニケーションスキルを高めることができる。

##### (2) 児童観

本学級の児童は、2学年時、生活科の授業で町探検を行っている。自分たちの住んでいる校区の特徴については、ある程度理解できているものの、たくさんある自分たちの町の良さにまでは、まだ目を向けることができていない。また、家庭環境や住んでいる場所によっても、校区の良さへの気付きには個人差がある。「白龍祭り」に行ったことのある児童は多いものの、祭りがなぜ行われてきたのかにまで思いを寄せている児童は、少ない。また、地域で650年もの間、脈々と継承されてきた「御松囃子御能」については、国重要無形民俗文化財に指定されているものの、あまり知っている児童はいない。京都で南朝天皇家の警護に当たっていた南北朝時代の豪族「菊池一族」が持ち帰った京文化の一つとされる菊池の代表銘菓である「松風」についても、食べたことがある児童は少なく、存在さえも知らない児童もいる。

2023年に地域住民と高校生により、隈府の一角にある木造2階建ての空き家を地域の交流拠点とした「タテベース」が整備され、利用している児童もいるが、そこに携わった方の思いにふれるまでには至っていない。

##### (3) 指導観

本単元の指導に当たっては、まず、「菊池盆踊り」代表の村上さんの話を聞き、実際に踊りを教えてもらう活動を行う。このことを通して、自分たちの地域を盛り上げるために活動しておられる方の存在を知り、自分も地域の一人として行動していきたいという意欲をもたせたい。

次に、菊池白龍会の方の話を聞くことで、菊池一族が存在していた頃から菊池に伝わっていた「白龍伝説」がもとになって、菊池では、毎年、白龍祭りが行われていることや菊池温泉の発掘にも龍が関係していることを知り、地域を盛り上げるために、人のつながりの中で受け継がれていったことに気付かせてい

きたい。また、実際に「松囃子御能」を見て伝承への思いを伺ったり、「廣現寺」に行き、天井に取り付けられた龍の彫刻への思いを住職さんに話を伺ったり、「タテベース」に行き、地域おこし協力隊の方のお話を伺ったりすることにより、菊池の伝統を引き継ぎながらも地域のつながりを大切にしたり、菊池のファンを増やしていくために様々な人が工夫を重ねてきていることに気付いてほしい。

さらに、学んだことをまとめ、学習発表会で地域の人へ発信していくことで、学びの足跡を振り返り、自分の成長を実感しながら、新たな探究的な学習へつなげていきたい。

#### (4) ESD との関連

##### ・本学習で働かせる ESD の視点 (見方・考え方)

多様性・・・自分たちの身の回りを改めて見てみると、たくさんの良さがある。

相互性・・・たくさんの良さもどこかで繋がっており、そこには、人との繋がりがある。

連携性・・・一人ではできないことも、同じ志をもった人同士で協力すれば色々なことができる。

責任性・・・自分たちの地域を良くしていくには、人任せにしないで自分から行動することが大切である。

##### ・本学習を通して育てたい ESD の資質・能力

未来像を予測して計画を立てる力

自分たちが大人になった時の菊池市を予測して、今、自分にできることを考える。

多面的・総合的に考える力

地域の人たちが、白龍を大切にしてくれているのは、菊池市の幸せを感じているからであり、その幸せは、自分たち子どものことを考えてからのことでもあることに気付く。また、自分も地域を担っていく一人だということを考えることができる。

進んで参加する態度

自分が良いと思ったことは、積極的に行動にうつすことができる。

##### ・本学習で変容を促す ESD の価値観

幸福感に敏感になる。幸福感を重視する。

地域の人々は、自分の幸せはもちろん、そこに住む人々の幸せや地域の幸せを願いながら様々な活動を行っており、自分もそれを引き継いでいく一人であるとともに、今の幸せは、周りの人々とのつながりがあるからこそである。

##### ・達成が期待される SDG s

11 住み続けられるまちづくりを

#### 4 単元の評価規準

ア 知識・技能	イ 思考・判断・表現	ウ 主体的に学習に取り組む態度
① 地域で長い間、伝承されてきた祭りや踊り、食べ物について理解している。	① 地域の方の話を聞いたり、インターネットや本で必要な情報を収集したりして、まとめている。	① 課題解決に向け、郷土や地域、自分のよさに気付き、探究活動に進んで取り組もうとすることとしている。
② 調べ学習や聞き取りなどから、地域の伝統を受け継ぐことの大切さや課題を理解している。	② 課題解決に向けて、観点に合わせて情報を整理し、考えている。 ③ まとめたことや考えたことを自分なりの方法で分かりやすく表現している。	② 地域の一員や自己の生き方と結びつけて考え、自分にできることを実践している。

5 単元の指導計画（全55時間）

学習活動	○学習への支援	○評価・備考
<p>1 隈府小校区にある有名なヒト、モノ、コトについて考えた後に、菊池市の豊かな自然に魅了され移住して来られ「菊池盆踊り」を復活させた村上さんに話を聞き、実際に盆踊りを踊ってみる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・村上さんが地域の方から聞き取りをしながら復活した「龍踊り」。菊池市では、毎年「白龍祭り」も行われている。なぜ、龍にまつわる話がたくさんあるんだろう。</li> <li>・村上さんがいう豊かな自然や食べ物はどこに？</li> <li>・タテベースの甲斐さんも福岡から菊池市に移住してきたって言ってたな。甲斐さんにも話を聞いてみたい。</li> </ul>	<p>○菊池に誰もが楽しめる場をつくりたい、市内外の人に菊池の美味しいものを味わってほしいという思いで 2022 年から始まった「きくち盆踊り」。その中の一つである「竜おどり」を教えてもらうことで、菊池市には、なぜ「龍」に関わるのがたくさんあるのかという課題がもてるようにする。</p> <p>○また、鎌倉から移住してきた村上さんが、菊池市に住み、菊池市を盛り上げるための活動をしていることに疑問を抱くことができるようにする。</p>	<p>ア① （知・技）</p> <p>ウ① （主体的）</p>
<p>2 菊池白龍会の方に話を伺い、30年前に菊池市をにぎやかな町にするために祭りをすることになったこと、ただの祭りではなく人が集まるようなシンボルを皆で知恵を出し合い考えていったのが現在の「白龍祭り」であることを知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・菊池温泉には、温泉が湧き出る時に白龍が夢枕に現れて温泉の場所を教えたという「白龍伝説」があるんだな。</li> <li>・廣現寺っていうお寺には、天井にある龍の彫刻が取り付けられたってニュースで言ってたよ。</li> <li>・白龍は、幸運を呼ぶ吉兆の龍で、菊池市を守ってくれてるんだな。</li> <li>・ぼくも白龍祭りに参加したいな。</li> <li>・4年生になったら白龍をかついでみたいよ。</li> </ul>	<p>○菊池白龍会の方を学校にお招きするとともに、子白龍の頭を持ってきていただくことで、白龍祭りに対する関心を高めるとともに、自分も祭りに参加したいという意欲を高める。</p> <p>○「地域を盛り上げたい。」という地域の方の思いが現在の白龍祭りにつながっていていることに気付かせる。</p>	<p>ウ② （主体的）</p> <p>イ① （思・判・表）</p>
<p>3 「廣現寺」に行き、木でつくられた龍の参拝者を迎える楼門や龍の手すり、新たに本堂天井に取り付けられた龍の彫刻を見せていただく。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・住職さんは、誰にでも訪れやすい寺にするだけでなく、菊池のファンを増やしたいと思ってるんだな。</li> </ul> <p>商店街につくられた地域のたまり場</p>	<p>○令和5年に完成した「廣現寺」の龍の彫刻を見学させてもらうことで、地域貢献をしたいという住職の思いを受け取ることができるようにする。</p> <p>○「タテベース」は、菊池市の商店街に</p>	<p>ア② （知・技）</p> <p>ウ② （主体的）</p>

<p>である「タテベース」に行き、地域おこし協力隊の方の話を聞く。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・昔は、菊池市の商店街には、たくさんのお客さんが来てたんだな。甲斐さんがいうようにまた、にぎやかな商店街になるといいな。</li> <li>・高校生が中心になって町のことを考えてるなんてすごいな。</li> <li>・タテベースって誰でも行っていいんだ。楽しそう。今度行ってみよう。</li> <li>・甲斐さんも菊池市には、おいしい食べ物や豊かな自然があるって言ってたな。 「松囃子御能保存会」の方に来ていただき、実際に狂言を見せてもらう。</li> <li>・650年も前から受け継がれてきたなんかすごいな。</li> <li>・1年生の頃に「くまもとの心」で学習したね。</li> </ul>	<p>たくさんのお客さんが来ていた頃の賑わいを取り戻したいという思いで、高校生と地域の人と一緒に、古民家を改装してつくったという話を地域おこし協力隊の甲斐さんにしてもらうことで、自分達にもできることはないか考えさせたい。</p> <p>○菊池盆踊りの村上さんやタテベースの甲斐さん、どちらも菊池にある自然や食べ物の豊かさに魅了され、移住されたこと、人と人とのつながりをつくるための取組をしておられるという共通点を想起させる。</p> <p>○「松囃子御能保存会」の中には、同級生である本校児童もいる。彼にも一緒に狂言を披露してもらうことにより、伝統芸能を引き継ぐことをより身近に感じてもらいたい。</p>	<p>イ② (思・判・表)</p>
<p>4 菊池市のお菓子「松風」の製造過程を見せていただき、伝統を受け継ぐことの努力や工夫、大切さを知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今、菊池市にあるお菓子屋さんについてもっと、調べてみたいな。</li> <li>・「松風」は、菊池一族と関わっていたんだな。</li> </ul>	<p>○菊池市にある15件のお菓子屋さんを調べる活動を通して、南北朝時代に懐良親王の菊池入りに伴い京都から伝わった「松風」が菊池の銘菓であることに気付かせたい。</p>	<p>イ②③ (思・判・表)</p>
<p>5 調べたことを学習発表会で発信する。</p>	<p>○発信することによって、自分達も今ある豊かな自然や食べ物、伝統を引き継いでいく一人であるという実感をもたせる。</p>	<p>イ③ (思・判・表)</p>